

Business Certificate news

No.: TCCI-0017

Date: 2011年8月26日

当所が発給した証明書に係る改ざん事案について

—原産地証明書等のデータ化、データ保存は極力お控えください—

先般、東京商工会議所が発給した日本法人証明書が何者かによって改ざんされ、これを正規の証明書と誤認した、海外7カ国に所在する複数の企業が不正取引の被害に遭い、金銭を騙し取られるといった事案が発生いたしました。本事案について、同証明書の申請者(被発給者)へ事情を照会した結果、同申請者においては発給された同証明書や同社作成のインボイス等をPDF化し、Eメールに添付して海外取引先に送付していたところ、先般、貿易取引に係るこれらデータがハッキング被害により流出し、企業名や住所、社印等が改ざんされたこれら書類が悪用され、今回の被害が発生したようだとの情報を得ました。同申請者においては、本事案に係る直接的な経済的損失は今のところ無いものの信用面への影響は甚大であるとして現在、被害に遭われた企業と連絡を取り合い、不正取引を行った者の特定に向け関連情報の収集に努めており、また、被害に遭われた企業は各国の地元警察や大使館に協力を依頼するなどしているとのことです。

つきましては、原産地証明書等、貿易関係証明書類の申請者方々におかれましては、これら証明書類をPDF化してコンピュータに保存したり、データ媒体で取引先等へ送付されることは極力お控えくださいようお願い申し上げます。

当所では、発給した各種証明書(紙)が申請者の側でデータ化され、これが何者かにより改ざんされるなどして不正取引に用いられ、その結果、関係者に損害が発生したとしても、これによる責任は一切負いませんので予めご承知おきください。

また、当所では、発給した証明書の真贋についての照会は随時受け付けておりますので、東京商工会議所発行の各種証明書についてご不明な点がございましたら証明センター宛てにお問い合わせください。

以上